



2013年9月13日

各位

会社名 株式会社 コックス  
 代表者名 代表取締役社長 吉竹 英典  
 (コード番号: 9876 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役経営管理部長 速水 英樹  
 (TEL: 03-5821-6070)  
 当社の親会社 イオン株式会社  
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也  
 (コード番号: 8267 東証第1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2014年2月期(2013年3月1日~2014年2月28日)の第2四半期(累計)業績予想について、2013年4月9日に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2014年2月期第2四半期(累計)(2013年3月1日~2013年8月31日)連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,000	20	140	20	0.73
今回修正予想 (B)	10,940	△730	△620	△760	△27.56
増減額 (B-A)	△1,060	△750	△760	△780	—
増減率 (%)	△8.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2013年2月期第2四半期)	11,651	△136	△23	△154	△5.60

## 2. 2014年2月期第2四半期(累計)(2013年3月1日~2013年8月31日)個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,900	80	140	20	0.73
今回修正予想 (B)	10,820	△670	△600	△740	△26.84
増減額 (B-A)	△1,080	△750	△740	△760	—
増減率 (%)	△9.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2013年2月期第2四半期)	11,603	△61	49	△81	△2.95

### 3. 修正の理由

上半期においては、当期の重点施策である「メンズ強化」「雑貨強化」を推進しました。「メンズ強化」については当社の主力事業である「i k k a」を拡大展開し、また「CURRENT」事業及び「VENCE EXCHANGE」事業においては、メンズ商品取扱店舗を増やしました。その結果、メンズの売上高前年比は116.6%と順調に推移しました。「雑貨強化」については、取扱商品のバリエーションを拡大し販売に取り組んだ結果、メンズ雑貨が堅調に推移しました。しかしながら、当社において売上構成比の高いレディース商品の販売が、上半期を通じて苦戦しました。その結果、上半期の既存店売上高前年比は95.9%となり、当初計画から4.1ポイント下回りました。

売上総利益については、競争の激化による値下げ販売の増加等により利益率が当初計画を下回り、売上高の未達と合わせて当初計画から乖離しました。

その結果、当上半期の連結業績は、売上高10,940百万円、営業損失730百万円、経常損失620百万円、四半期純損失760百万円と当初予想を下回る見込みとなりました。

下半期においては、レディース商品の内容・販売方法を見直して建て直しを図ると同時に、上半期に成果の出たメンズ・雑貨商品の強化をさらに推進し、売上を回復させてまいります。また、日本・中国・アセアンにおける商品調達先・物流の見直し、アウトレット業態「CURRENT」を活用した在庫循環機能のさらなる活発化等を推進し、荒利益率を高めてまいります。

以 上